



はじめに

IIA 国際本部が実施する第一回「リスク・イン・フォーカス」グローバル・サーベイにご参加いただき、誠にありがとうございます。

「リスク・イン・フォーカス」は、内部監査人協会欧州地域連合（ECIIA）により開発されたモデルで、大きな成果を上げています。そこで IIA は現在、本プロジェクトを世界的に広げようとしています。

本サーベイは、内部監査部門長を対象に毎年行われているもので、監査計画を策定する際に、組織体が直面する上位 5 つのリスクを識別することを目的としています。本サーベイの結果は、ご回答者様の様な内部監査部門長が、同業他社が現在のリスク環境にどのように対応しているかを理解するのに役立ちます。

また本サーベイは、組織体としての見解を有する内部監査部門長または内部監査部門の上位者を対象としています。回答所要時間は 5 分以内です。

また回答者の情報等の秘密は保護されます。収集したすべてのデータは、IIA のプライバシー方針の条件に則り、収集、整理、管理され、総計されたもののみご報告する予定です。IIA は、内部監査の専門家のためのレポートを作成するために、本サーベイの結果を使用します。皆様のご協力により、様々な種類の組織体の視点がそのレポートに確実に反映されるようになります。レポートは地域ごとに発行される予定です。

ご不明な点は research@theiia.org までお問い合わせください。

サーベイに関する同意事項

私は、収集されたデータが、IIA のプライバシー方針の要件に則り、収集、整理、また管理されることを理解しています。

- はい
- いいえ

Q1. 職位

あなたは、所属されている組織体の内部監査部門長または内部監査部門の最上位職の方ですか？

- はい
- いいえ

Q2. 在住地域

どの地域にお住まいですか？

- アフリカ
- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 南米（およびカリブ海地域）
- 中東
- 北米



Q3.上位5つのリスク - 現在の状況

あなたの所属する組織体が現在直面している上位5つのリスクに順位を付けてください。

(1位を最大のリスクとして、1位から5位まで順位を付けてください。1が最大のリスクを指します。該当項目を順位エリアにドラッグした後、必要に応じて順位が変更できます。)

選択肢
事業継続、業務のレジリエンス（回復力）、危機管理、災害対応
法令および規制等の変更
気候変動、生物学的多様性、環境の持続可能性
コミュニケーション、評判、ステークホルダーとの関係
サイバーセキュリティ及びデータセキュリティ
デジタル化による破壊的变化、新たなテクノロジー、AI
財務、流動性、及び債務超過リスク
不正、贈収賄及び混乱目的の犯罪
健康、安全及びセキュリティ
人的資源、多様性及び人材の管理と維持
マクロ経済及び地政学的不確実性
市場の変化／競争、顧客行動
合併及び買収
組織文化
組織ガバナンスと企業報告
サプライチェーン、アウトソーシング、第三者リスク

Q4. 内部監査の重要事項 - 現在の状況

現在、内部監査部門が最も時間と労力を費やしておられる上位5つのリスクに順位をつけてください。(1位を最大のリスクとして、1位から5位まで順位を付けてください。1が最大のリスクを指します。該当項目を順位エリアにドラッグした後、必要に応じて順位が変更できます。)

選択肢
事業継続、業務のレジリエンス（回復力）、危機管理、災害対応
法令および規制等の変更
気候変動、生物学的多様性、環境の持続可能性
コミュニケーション、評判、ステークホルダーとの関係
サイバーセキュリティ及びデータセキュリティ
デジタル化による破壊的变化、新たなテクノロジー、AI
財務、流動性、及び債務超過リスク
不正、贈収賄及び混乱目的の犯罪
健康、安全及びセキュリティ
人的資源、多様性及び人材の管理と維持
マクロ経済及び地政学的不確実性
市場の変化／競争、顧客行動



合併及び買収
組織文化
組織ガバナンスと企業報告
サプライチェーン、アウトソーシング、第三者リスク

Q5. 在住地域の重要リスク

調査に含まれるリスク領域以外に、所属組織や内部監査部門が現在直面している地域特有のリスク領域はありますか。その内容を簡単にご説明ください。

Q6. 上位5つのリスク - 将来的に向けて

将来、リスクが変化する可能性があると思いますか。今後3年間で直面すると思われるリスクの上位5つのリスクに順位を付けてください。(1位を最大のリスクとして、1位から5位まで順位を付けてください。1が最大のリスクを指します。該当項目を順位エリアにドラッグした後、必要に応じて順位が変更できます。)

選択肢
事業継続、業務のレジリエンス（回復力）、危機管理、災害対応
法令および規制等の変更
気候変動、生物学的多様性、環境の持続可能性
コミュニケーション、評判、ステークホルダーとの関係
サイバーセキュリティ及びデータセキュリティ
デジタル化による破壊的変化、新たなテクノロジー、AI
財務、流動性、及び債務超過リスク
不正、贈収賄及び混乱目的の犯罪
健康、安全及びセキュリティ
人的資源、多様性及び人材の管理と維持
マクロ経済及び地政学的不確実性
市場の変化／競争、顧客行動
合併及び買収
組織文化
組織ガバナンスと企業報告
サプライチェーン、アウトソーシング、第三者リスク



Q7. 内部監査の重要事項 - 将来に向けて

内部監査の重要事項は、今後どのように変化すると思いますか。内部監査が今後3年間で最も多くの時間や労力を費やすと思われる上位5つのリスクに順位を付けてください。(1位を最大のリスクとして、1位から5位まで順位を付けてください。1が最大のリスクを指します。該当項目を順位エリアにドラッグした後、必要に応じて順位が変更できます。)

選択肢
事業継続、業務のレジリエンス（回復力）、危機管理、災害対応
法令および規制等の変更
気候変動、生物学的多様性、環境の持続可能性
コミュニケーション、評判、ステークホルダーとの関係
サイバーセキュリティ及びデータセキュリティ
デジタル化による破壊的变化、新たなテクノロジー、AI
財務、流動性、及び債務超過リスク
不正、贈収賄及び混乱目的の犯罪
健康、安全及びセキュリティ
人的資源、多様性及び人材の管理と維持
マクロ経済及び地政学的不確実性
市場の変化／競争、顧客行動
合併及び買収
組織文化
組織ガバナンスと企業報告
サプライチェーン、アウトソーシング、第三者リスク

Q8. 組織体の属性

所属されている組織体の属性をお教えてください。

- 株式公開組織（上場企業）
- 非公開組織（非上場企業）
- 公共セクター（政府系企業を含む）
- 非営利団体または非営利目的
- サービス提供事業者／コンサルタント
- その他
- 不明／該当なし

Q9. 業界

所属組織体の業種をお教えてください。

- 宿泊、飲食サービス
- 事務管理、サポートサービス
- 農林漁業
- 芸術、芸能、娯楽
- 慈善団体
- 建設



- 教育
- 金融、保険
- ヘルスケア、社会福祉
- 情報、通信
- 製造
- 鉱業、エネルギー、水道
- 専門職サービス、科学サービス、技術サービス
- 公共セクター（中央政府、地方政府、地方公共団体）
- 輸送、倉庫
- 卸売、小売
- その他

Q10. 居住国または地域

お住まいの国や地域はどちらですか？

以下のリストから、居住国、所属国、特別自治区または、リストの最後にある「その他」を選択してください。

Q11. 内部監査部門の規模

所属されている内部監査部門には、フルタイム換算で何名の従業員（内部監査部門長および外部からの委託スタッフを含む）がおられますか。

- 1
- 2 -5
- 6 -10
- 11 -15
- 16 - 25
- 26 - 50
- 51 - 100
- 100 人超
- わからない／該当なし